

令和5年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（廃棄物処理施設を核とした地域循環共生圏構築促進事業）のうち、以下の事業に対する公募結果について

- (3)-2 電線、変圧器等廃棄物発電により生じた電力を利活用するための設備、これらの設備を運転制御するために必要な通信・制御設備等を導入する事業
- (4)-2 熱導管等廃棄物の処理により生じた熱を利活用するための設備、これらの設備を運転制御するために必要な通信・制御設備等を導入する事業
- (5) 廃棄物処理施設からの余熱や発電した電力を地域において有効利用するために、熱や電力を利活用する設備設置に対する余熱見込量や事業採算性の検討等を行い事業としての実現可能性を調査する事業

当協会は、標記の件について、令和5年4月3日(月)から令和5年4月21日(金)まで第一次公募を行い、応募案件の審査を行った結果、下記の3件を採択しました。

記

1. 電線・変圧器等廃棄物発電により生じた電力を利活用するための設備、これらの設備を運転制御するために必要な通信・制御設備等を導入する事業（単年度事業分）

応募事業者：1件

採択事業者数1

申請団体名	エネルギー供給施設	事業概要
東埼玉資源環境組合	第1工場 第2工場	ごみ処理施設敷地内の駐車場に電気自動車用充電器を設置し、ごみ焼却により発電した電力を自営線により電気自動車に給電することで、電力の利活用を図る。 第一工場 急速充電器 1基 （来場者駐車場） 普通充電器 1基 （公用車駐車場） 第二工場 急速充電器 1基 （来場者駐車場）

2. 熱導管等廃棄物の処理により生じた熱を利活用するための設備、これらの設備を運転制御するために必要な通信・制御設備等を導入する事業（単年度事業分）

応募事業者数：0件

3. 廃棄物処理施設からの余熱や発電した電力を地域において有効利用するために、熱や電力を利活用する設備設置に対する余熱見込量や事業採算性の検討等を行い事業としての実現可能性を調査する事業

応募事業者：2件

採択事業者数2

申請団体名	エネルギー供給施設	事業概要
伊勢広域環境組合	新設一般廃棄物焼却工場	新工場のごみ焼却時の余熱を、隣接農地に建設を計画する温室ハウスの暖房熱源として活用し、従来のA重油を用いた重油加温方式により発生するCO2を削減する。
スマートシティ企画株式会社	さいたま市サーマルエネルギーセンター	さいたま市に建設中であるサーマルエネルギーセンターの廃棄物焼却発電施設に、排ガス中のCO2を原料としてカーボンブラックを製造する設備(CO2固体炭素化システム)を併設し、そのCO2固体炭素化システムに、施設から発生する電気、熱を供給する事業に関し、実現可能性を調査する。